

実践型地域雇用創造事業 事業構想提案書

<事業タイトル>

人を結び、時を結び、地域を結ぶ 観光資源の活用がもたらす雇用と産業の創出
～結の故郷 越前おおの雇用創造プロジェクト～

<事業の実施に係る地域>

福井県 大野市

<協議会名>

越前おおの雇用創造推進協議会

代表者 会長 岡田高大

<越前おおの雇用創造推進協議会構成員一覧>

構 成 員	住 所
大野商工会議所	〒912-0083 福井県大野市明倫町 3-33
(一社)大野市観光協会	〒912-0081 福井県大野市元町 10-23
(一社)大野建設業会	〒912-0031 福井県大野市月美町 14-21
テラル越前農業協同組合	〒912-0015 福井県大野市中挾一丁目 1301
九頭竜森林組合	〒912-0401 福井県大野市吉 6-7
(福)大野市社会福祉協議会	〒912-0084 福井県大野市天神町 7-15
越前信用金庫	〒912-0051 福井県大野市日吉町 2-19
福井県労働政策課	〒910-8580 福井県福井市大手三丁目 17-1
福井県奥越農林事務所	〒912-0016 福井県大野市友江 11-10
大野市	〒912-8666 福井県大野市天神町 1-1

<事業構想>

<事業タイトル>

人を結び、時を結び、地域を結ぶ 観光資源の活用がもたらす雇用と産業の創出
～結の故郷 越前おおの雇用創造プロジェクト～

1 事業の趣旨・目的

大野市は、福井県東部に位置し、北は石川県と勝山市、東と南は岐阜県、西は福井市と池田町に接している。平成 17 年 11 月 7 日に和泉村を編入し、総面積は 872.43 km²となり福井県内最大である。市域の約 87%を森林が占め、東部は白山国立公園や奥越高原県立自然公園に含まれている。日本百名山の一つである荒島岳など白山の支脈の山々に囲まれており、清らかな水と豊かな食に恵まれた、歴史、文化、伝統が息づく奥越の中核都市として発展してきた。

平成 27 年 1 月 1 日現在の推計人口は 33,162 人で、平成 17 年からの 10 年間で 11.9%減少（県平均 4.4%減少）している。平成 26 年 10 月 1 日現在の高齢化率は 33.2%と、全国平均の 26.0%、県平均の 27.9%と比べて著しく高く、市場の縮小による地域経済の縮小、後継者不足による地域産業の衰退等が懸念されている。

産業構造は、伝統的に農業や繊維産業が盛んであったが、農家の高齢化や後継者不足、国際競争の激化による繊維産業の衰退により、年々、第 1 次産業、第 2 次産業従事者の割合が低くなり、第 3 次産業従事者の割合が高くなる傾向にある。

そこで、本市においては平成 20 年 7 月、交流人口の増加と商店街の活性化を柱とする大野市中心市街地活性化基本計画を策定し、賑わいあふれるまちづくりを目指して各種活性化策を展開してきた。平成 22 年 4 月には、本市を訪れた観光客をまちなかへ導くゲートウェイとして位置付ける「越前おおの結ステーション」が完成し、時を同じくして「越前大野城築城 430 年祭」を開催することで、観光客入込数の大幅な増加を図った。平成 25 年 3 月には第 2 期大野市中心市街地活性化基本計画を策定し、平成 26 年に「天空の城 越前大野城」を全国に向けて発信するとともに、「結の故郷発祥祭」を年間を通じて開催することで、観光客入込数は過去最高の 193 万人を記録した。

「結の故郷 越前おおの」が全国的に認知されつつある今こそ、観光関連産業にとって事業拡大のチャンスであり、観光客の増加により拡大しつつある雇用創出の機運を確かなものとするため、実践型地域雇用創造事業の構想提案を行うものである。

表1 産業別就業者の構成

(単位:人)

	従事者数	割合	主な産業	従事者数	割合
第1次産業	1,775	9.7%	農業	1,671	9.2%
第2次産業	5,615	30.8%	建設業	2,384	13.1%
			製造業	3,223	17.7%
第3次産業	10,808	59.3%	卸売業・小売業	2,624	14.4%
			医療・福祉	2,323	12.8%
分類不能	17	0.1%		17	0.1%
計	18,215	100.0%	-	18,215	100.0%

資料:平成22年国勢調査

2 地域重点分野における地域の取組

(1) 地域重点分野の設定

- イ 観光振興分野
- ロ 物産振興分野

(2) 地域重点分野に係る産業の動向と今後の見通し

イ 観光振興分野

観光振興分野については、越前おおの結ステーションや城下町東広場、城下町西広場等の整備が進んだことにより、「天空の城 越前大野城」を中心としたまちなか観光に訪れる観光客が増加しており、平成26年の観光客入込数は1,935,500人となり、平成17年と比較すると32.3%増加している。しかし、アウトドアレジャーを中心とした郊外型観光の入込数は、観光施設の閉鎖や温泉施設の休業等もあり、減少傾向となっている。また、日帰りの観光客が全体の94.6%を占め、宿泊や飲食をはじめとする観光関連産業への経済効果が小さいことが課題となっている。

今後、中部縦貫自動車道の全線開通(開通年度未定)、北陸新幹線の福井開業(平成34年度予定)を見据え、新たな観光客やリピーターを増やし、その消費を拡大していくためには、通過型観光から滞在型観光への転換を図るとともに、まちなか観光と郊外型観光を結び付け、それらを効果的に情報発信できる人材や、繰り返し本市を訪れていただくためのおもてなしのサービスを提供できる人材の育成が必要となっている。

表 2 目的別観光客入込数

(単位:千人)

	H17	H18	H20	H22	H24	H26
まちなか観光	458	470	534	806	555	960
郊外型観光	1,005	1,053	981	1,021	982	976
計	1,463	1,523	1,515	1,827	1,537	1,936

資料:市商工観光振興課調

表 3 日帰り・宿泊別観光客入込数

(単位:千人)

	H17	H18	H20	H22	H24	H26
日帰り	1,364	1,442	1,433	1,738	1,426	1,831
宿泊	99	81	82	89	111	105
計	1,463	1,523	1,515	1,827	1,537	1,936

資料:市商工観光振興課調

表 4 民営宿泊業・飲食業 事業所数・従事者数 (単位:事業所, 人)

	H18	H21	H24
事業所数	258	266	233
従事者数	948	972	1,113

資料:事業所企業統計調査・経済センサス

ロ 物産振興分野

本市では良質な地下水と農産物を生かした酒、醤油、酢、味噌、豆腐づくりが古くから盛んであり、また、伝統的な和菓子や冬の保存食としての漬物やなれ寿司等の食文化が受け継がれ、歴史ある食品産業が発達してきた。しかし、その大半が家族経営の小規模事業所であることから、高齢化と後継者不足の影響を受け、事業の継続が危ぶまれている。

卸売・小売業については、事業所数、従業者数、年間販売額のいずれも減少傾向にあり、事業主の高齢化や後継者不足により、商業活動の衰退やまちなかのにぎわい喪失が懸念されている。

しかし、まちなか観光を中心とした観光入込客数の増加は、土産品等の製造業者や販売業者にとっても大きなチャンスであり、今後、地域資源を生かした商品開発や観光客のニーズに応じた魅力ある店舗づくり、後継者の育成を進めることで、商業活動の活性化と雇用の創出が期待される。

表 5 卸売・小売業 事業所数・従事者数・年間販売額 (単位:事業所, 人, 万円)

	H14	H16	H19	H24
事業所数	635	623	550	398
従事者数	2,967	2,746	2,559	1,946
年間販売額	5,206,344	4,795,745	4,465,748	3,284,400

資料:商業統計調査・経済センサス

(3) 地域独自に実施している取組とその成果の見込み

① (株) 平成大野屋の取組

a 内容

商業活動を展開する市民参加型第三セクター方式により地域おこしの会社として、市と市民が出資して平成 11 年 6 月に設立。特産品の販売や飲食の提供、観光拠点施設平成大野屋の維持管理を行う等、まちなか観光の中心的役割を担っている。

b 実施主体 (株) 平成大野屋

c 事業規模 平成 27 年度予算額 110,029 千円

d 成果

(a) これまでの実績

- ・地場産品の販売、土産品の提供、情報の全国発信
- ・はいから茶屋の運営(飲食)

(b) 今後の見込み

- ・大野の魅力や情報発信
- ・観光客等への食事の提供や土産品の販売
- ・特産品の情報発信、販路開拓、販売

② (株) 結のまち越前おおのの取組

a 内容

賑わいと活力のある商業環境を整備すること等を目的に、市、大野商工会議所、民間事業者が出資して平成 25 年 1 月に設立。

b 実施主体 (株) 結のまち越前おおの

c 事業規模 平成 27 年度予算額 20,899 千円

d 成果

(a) これまでの実績

- ・まち講座「匠の勧め」の実施
参加店舗数延べ 194 件、実施講座数延べ 190 回、受講者数延べ 712 人
- ・伝統的食文化サービス「魚屋さんでおおの膳」の開発
参加店舗数 6 件、販売数 133 食
- ・越前おおの食べ歩き・見て歩きマップの作成
参加店舗数 31 件、販売数 2,858 件

(b) 今後の見込み

これまでの取り組みを継続するとともに、まちなかに増えつつある空き店舗等遊休不動産の利活用、貸し手と借り手のマッチングによる起業支援の仕組みづくりに取り組む。

③ 一般財団法人越前おおの農林楽舎の取組

a 内容

農林産物のブランド化と販路拡大等の特産振興、優良農地の確保と効率的利用、多様な担い手の育成確保及び都市部との交流の推進を図ることによって本市農業と地域社会経済の活性化を目的に、基本金を市、大野商工会議所、テラル越前農業協同組合、九頭竜森林組合が出捐して平成21年4月に設立。

b 実施主体 一般財団法人越前おおの農林楽舎

c 事業規模 平成27年度予算額 100,436千円

d 成果

(a) これまでの実績

- ・越前おおの里の恵み認証登録者数 平成25年度22人、平成26年度31人
- ・産地保証登録者数 平成25年度98人、平成26年度105人
- ・都市圏での販路開拓 平成25年度4件、平成26年度3件

(b) 今後の見込み

農業経営の安定と生産力の確保、農地の有効活用等のほか、「越前おおの里の恵み」認証制度等への取り組みを促進し、安全で安心な農産物の生産・供給体制の強化を進めるとともに、効果的なブランド発信により販路の拡大に取り組む。

④ 中小企業振興対策

a 内容

大野商工会議所との連携により、中小企業や小規模事業所の経営指導、事業の課題を相談する窓口を設置するとともに、事業所への巡回指導、講習会等を実施。

b 実施主体 大野市、大野商工会議所

c 事業規模 平成27年度予算額 17,063千円

d 成果

(a) これまでの実績

平成26年度 巡回指導478件、窓口指導265件、講習会等184件

(b) 今後の見込み

これまでの取り組みを継続するとともに、市内における創業を促進するため、創業のノウハウが得られるセミナー等を実施。

⑤ 大野市融資制度

a 内容

経営安定化と経営革新の促進。

- b 実施主体 大野市
- c 事業規模 平成 27 年度予算額 100,000 千円
- d 成果
 - (a) これまでの実績
 - ・平成 26 年度融資額 117,660 千円（市預託額 86,000 千円）
 - ・融資実績 平成 25 年度 25 件、平成 26 年度 22 件
 - (b) 今後の見込み
 - 引き続き実施予定。

⑥ 元気チャレンジ企業支援事業

- a 内容
 - ベンチャー性の高い事業を起業する事業者や地域資源を生かした新たな名産品、土産品、農商工連携商品の開発や販路開拓を行う事業者を支援する。
- b 実施主体 大野市
- c 事業規模 平成 27 年度予算額 1,072 千円
- d 成果
 - (a) これまでの実績
 - ・平成 26 年度決算額 0 円
 - (b) 今後の見込み
 - 引き続き実施予定。

⑦ まちなか商店街にぎわい再生事業補助

- a 内容
 - 商店街への来訪者の増加と売上の向上を図るため、商店街が行うイベントや研修会に支援を行う。
- b 実施主体 大野市
- c 事業規模 平成 27 年度予算額 4,661 千円
- d 成果
 - (a) これまでの実績
 - ・平成 26 年度決算額 5,190 千円
 - ・補助実績 平成 25 年度 13 件、平成 26 年度 17 件
 - (b) 今後の見込み
 - 引き続き実施予定。

⑧ 中心市街地店舗再生事業補助

- a 内容
 - 中心市街地の空き地や空き家を活用して出店する事業者及び既存店舗の後継者を支援する。また、県内外の観光客をもてなす新たな取り組みを実施する店舗に対して支援する。
- b 実施主体 大野市（国交付金：社会資本整備総合交付金、県補助金あり）
- c 事業規模 平成 27 年度予算額 3,542 千円

d 成果

(a) これまでの実績

- ・平成 26 年度決算額 2,029 千円
- ・補助実績 平成 25 年度 7 件、平成 26 年度 3 件

(b) 今後の見込み

引き続き実施予定。

⑨ 女性起業家・経営者支援事業補助

a 内容

女性経営者による起業や新たな事業展開に対して支援する。

b 実施主体 大野市（国交付金：社会資本整備総合交付金、県補助金あり）

c 事業規模 平成 27 年度予算額 8,263 千円

d 成果

(a) これまでの実績

- ・平成 27 年度からの新規事業

(b) 今後の見込み

引き続き実施予定。

⑩ 観光セールス事業

a 内容

「越前おおのブランド」の観光情報を広く発信するため、出向宣伝等の観光セールス活動を実施する。

b 実施主体 大野市

c 事業規模 平成 27 年度予算額 8,088 千円

d 成果

(a) これまでの実績

- ・平成 26 年度決算額 9,905 千円

(b) 今後の見込み

引き続き実施予定。

⑪ 学生合宿誘致事業

a 内容

市内の宿泊施設を学生合宿で利用した団体に宿泊費等の補助を行う。

b 実施主体 大野市（県補助あり）

c 事業規模 平成 27 年度予算額 7,200 千円

d 成果

(a) これまでの実績

平成 26 年度決算額 5,534 千円

学生合宿実績 平成 25 年度 6,121 人、平成 26 年度 5,513 人

(b) 今後の見込み

引き続き実施予定。

⑫ 結の故郷おもてなし事業

a 内容

宿泊等を伴う旅行を催行する旅行事業者への助成、食べ歩き・見て歩きマップを活用した商品販売への助成等を行う。

b 実施主体 大野市

c 事業規模 平成 27 年度予算額 5,584 千円

d 成果

(a) これまでの実績

平成 26 年度決算額 4,078 千円

(b) 今後の見込み

引き続き実施予定。

⑬ 結の故郷はたらく若者定住奨励金

a 内容

市内に定住し、就職している 18 歳から 21 歳までの若者に奨励金を交付する。

b 実施主体 大野市

c 事業規模 平成 27 年度予算額 38,500 千円

d 成果

(a) これまでの実績

平成 27 年度新規事業

(b) 今後の見込み

引き続き実施予定。

(4) 地域重点分野に係る実施体制

市、大野商工会議所、(一社)大野市観光協会、大野市旅館組合、(株)結のまち越前おおの、(株)平成大野屋、(一財)越前おおの農林楽舎、デジタルハリウッド(株)、市内飲食店、市内小売店との連携

- ・関係機関と連携し、本市が誇る魅力ある観光素材のすべてを越前おおのブランドとして磨き上げ、観光サービスや土産品の情報発信の強化、観光客をお迎えするおもてなしの心の向上を図るための人材を育成し、観光客をターゲットとした新たな土産品や体験サービスの開発を行うことにより、地域ブランドの向上と雇用創造に取り組む。

(5) 関係省庁連携による地域再生の取組

イ 地域再生基本方針に掲げる施策の実施

(イ) 地域の雇用再生プログラムに掲げる施策の実施

a 事業名

越前おおの元気創造人材育成・雇用創出による地域再生(地域雇用創造推進事業、地域雇用創造実現事業)

b 事業内容

農林業、商工業、観光関連産業、介護福祉産業において、元気な産業を創造する人材を育成するとともに、特産品の開発や販路開拓、誘客事業の実施により、新たな地域産業・雇用機会の創出に取り組む。

c 所管官庁

厚生労働省

d 事業実施期間

平成 21 年度～平成 25 年度

(ロ) 地域の雇用再生プログラム以外の地域再生基本方針に掲げる施策の実施

a 事業名

奥越自然の癒し推進計画（農林水産関係補助対象施設の有効活用）

b 事業内容

「スターランドさかだに」の一部を目的外使用して農産物やソバ、郷土料理等の販売所として活用し、エコ・グリーンツーリズムをはじめとする地域の交流人口を拡大し、当該施設をはじめ地域全体の魅力向上につなげ、地域のさらなる活性化を図る。

c 所管官庁

農林水産省

d 事業実施期間

平成 16 年度～平成 23 年度

a 事業名

奥越自然の交流基盤整備推進計画（地域再生基盤強化交付金）

b 事業内容

林道、市道の集中的な整備を行うことで、森林へのアクセスを確保し農林業の効率化を図るとともに、中部縦貫自動車道等幹線道路とのネットワーク化を行うことにより、エコ・グリーンツーリズムの拠点地へのアクセスの利便性の向上を図り、交流人口の拡大と林業をはじめとする地域産業の活性化を図る。

c 所管官庁

国土交通省、農林水産省

d 事業実施期間

平成 17 年度～平成 21 年度

a 事業名

九頭竜の源流と城下町のうるおい活力回復計画
（地域再生基盤強化交付金）

b 事業内容

公共下水道、農業集落排水及び浄化槽を一体的に整備することにより、河川等の水質改善を図り、快適な生活環境づくりを進めつつ「九頭竜川の源流および名水のまち大野」の保全を通じた地域の活力回復を目指す。

c 所管官庁

国土交通省、農林水産省、環境省

d 事業実施期間

平成 17 年度～平成 21 年度

a 事業名

越前おおの自然・城下町の交流基盤整備推進計画
(地域再生基盤強化交付金)

b 事業内容

人口減少による担い手不足、担い手の高齢化の進展により、森林保全ができないことから、林道整備を行い、安定した林業基盤を確立し、低コスト化・効率化を図る。また、本市の豊かな地域資源を有効にかつ有機的に活用し中心市街地の活性化とともに、農山村での交流やエコ・グリーンツーリズムを推進し、交流人口の増加による活性化を図る。

c 所管官庁

国土交通省、農林水産省

d 事業実施期間

平成 22 年度～平成 26 年度

ロ 地域再生基本方針に掲げる施策以外の省庁施策の実施

a 事業名

第 2 期大野市中心市街地活性化基本計画

b 事業内容

人々の生活や営みの中心として、中心市街地の再生を目指すとともに、歴史的、文化的な魅力、景観資源、食等に磨きをかけ、多様な人々が集う、活気に満ちた魅力あるまちに再生することを目指す。

c 所管官庁

内閣府

d 事業実施期間

平成 25 年度～平成 29 年度

3 雇用面における課題

観光客入込数は、年々増加しているが、大半が滞在時間の短い日帰り客であり、地域への経済効果は伸びていない。観光客の増加を地域への経済効果につなげるには、

観光客の滞在時間を伸ばすとともに、繰り返し本市を訪れるリピーターをつくることが重要であり、そのためには、魅力ある観光資源を活用した情報発信や顧客満足度を高めるための商品・サービスの開発が必要である。

具体的には、地域資源の魅力と観光客のニーズを的確にとらえた商品開発、観光客をお迎えする心のこもったおもてなしのサービス、インターネットを活用した効果的な情報発信、今後、増加が見込まれる外国人観光客への対応ができる人材の育成が喫緊の課題となっている。

4 実施しようとする事業の内容

I 雇用拡大メニュー（事業主を対象とすること）

(1) 観光業開発セミナー

イ 事業内容

これからの観光業において、それぞれの業界はどのような役割を担うのか、地域間競争を勝ち抜くための観光おもてなし戦略を学び、観光業の活性化と雇用創造につなげる。

1 日目 これからの観光業

2 日目 観光客に喜ばれるおもてなしの事例

3 日目 表情、態度、設えで示すおもてなしの心

ロ 想定される受講者

旅行業者、飲食業者、宿泊業者、土産品業者、起業予定者 等

ハ 事業実施期間

平成 28 年 1 月～平成 29 年 3 月

3H×3 日×1 回／定員 15 社【平成 27 年度】

3H×3 日×1 回／定員 15 社【平成 28 年度】

ニ 事業実施主体

越前おおの雇用創造推進協議会

ホ 2 の取組との連携方法

観光セールス事業により、新たな観光サービスを広く情報発信し、中心市街地への新規出店者に対しては、中心市街地店舗再生事業補助により支援を行うことで、新規事業の創出と雇用拡大を促進する。

ヘ イの事業内容を設定するに当たっての地域のニーズ・シーズの把握方法

市内事業者 305 社へアンケート調査を実施。

(2) 商品開発・マーケティングセミナー

イ 事業内容

観光土産品をはじめとする売れる商品を開発するために必要なターゲットの把握方法、コンセプト作り、企画プロセスのポイントを学び、地域資源を活用した商品開発に結び付ける。

- 1 日目 ターゲットの明確化と買いたくなるコンセプト
- 2 日目 商品企画プロセスの鉄則
- 3 日目 売れ続ける定番商品の秘訣
- ロ 想定される受講者
旅行業者、飲食業者、宿泊業者、土産品業者、起業予定者 等
- ハ 事業実施期間
平成 28 年 1 月～平成 29 年 3 月
4H×3 日×1 回／定員 15 社【平成 27 年度】
4H×3 日×1 回／定員 15 社【平成 28 年度】
- ニ 事業実施主体
越前おおの雇用創造推進協議会
- ホ 2 の取組との連携方法
元気チャレンジ企業支援事業により、新たな名産品、土産品、農商工連携商品の開発や販路開拓を支援する。
- ヘ イの事業内容を設定するに当たっての地域のニーズ・シーズの把握方法
市内事業者 305 社へアンケート調査を実施。

(3) ネット活用ビジネスセミナー

- イ 事業内容
観光産業における情報発信の重要性、SNSをはじめとしたソーシャルメディアの活用方法を学び、全国を対象とした観光サービスや商品のプロモーション展開を促進することで、事業の拡大と雇用の創出に結び付ける。
 - 1 日目 観光誘客・販売促進における情報発信の重要性～ソーシャルメディア時代の理解～
 - 2 日目 観光誘客・販売促進におけるブログ・ソーシャルメディアの活用
 - 3 日目 自社メディアによる情報発信、観光誘客・販売促進における SNS の活用
- ロ 想定される受講者
旅行業者、飲食業者、宿泊業者、土産品業者、起業予定者 等
- ハ 事業実施期間
平成 28 年 4 月～平成 29 年 12 月
3H×3 日×1 回／定員 15 社【平成 28 年度】
3H×3 日×1 回／定員 15 社【平成 29 年度】
- ニ 事業実施主体
越前おおの雇用創造推進協議会
- ホ 2 の取組との連携方法
元気チャレンジ企業支援事業による支援を行うことで、Web を活用したベンチャー性の高い事業の展開が可能となる。

- ヘ イの事業内容を設定するに当たっての地域のニーズ・シーズの把握方法
市内事業者 305 社へアンケート調査を実施。

(4) 実践メニュー成果物公開セミナー

イ 事業内容

事業主及び起業予定者等を対象に実践メニューで開発した土産品のレシピや観光体験メニューを公開し、市内事業所の事業拡大と雇用創造につなげる。

ロ 想定される受講者

旅行業者、飲食業者、宿泊業者、土産品業者、起業予定者 等

ハ 事業実施期間

平成 29 年 1 月～平成 29 年 12 月

3H×1 日×1 回／定員 15 社【平成 28 年度】

3H×1 日×1 回／定員 15 社【平成 29 年度】

ニ 事業実施主体

越前おおの雇用創造推進協議会

ホ 2 の取組との連携方法

実践メニューで開発した土産品や観光体験メニューを広く市内の事業者や起業予定者等に公開することにより、事業拡大と雇用創造を促進する。

II 人材育成メニュー（地域求職者等を対象とすること）

(1) 観光誘客力育成セミナー

イ 事業内容

より多くの観光客を地域内に呼び込むとともに、通過型観光から滞在型観光への転換を図るため、観光マーケティングの基礎や旅行商品開発のノウハウを学び、地域内の歴史、文化、伝統、自然環境、食といった観光資源を生かした観光誘客を推進できる人材を育成することで、地域求職者の早期就業につなげる。

1 日目 観光マーケティング

2 日目 評価される観光地とは

3 日目 着地型商品の開発を考える

4 日目 インバウンド対応実務

ロ 想定される就職先

旅行業者、飲食業者、宿泊業者、土産品業者 等

ハ 事業実施期間

平成 28 年 1 月～平成 29 年 3 月

3H×4 日×1 回／定員 15 人【平成 27 年度】

3H×4 日×1 回／定員 15 人【平成 28 年度】

ニ 事業実施主体

越前おおの雇用創造推進協議会

ホ 2の取組との連携方法

関係機関との連携により、セミナーへの参加を広く呼び掛けるとともに、セミナー受講者に対しては、セミナーの効果を生かせる求人情報を提供し、就業機会の拡大につなげる。

ヘ イの事業内容を設定するに当たっての地域のニーズ・シーズの把握方法
市内事業者 305 社へアンケート調査を実施。

(2) 観光おもてなし力育成セミナー

イ 事業内容

繰り返し本市を訪れる観光リピーターを増やすとともに、地域内における観光消費額を拡大するため、おもてなしの心と技術を学び、おもてなしを売上に結び付けられる人材を育成することで、地域求職者の早期就業につなげる。

1 日目 おもてなしの土台となるマナー、相手を笑顔にするおもてなし

2 日目 販売員としての意識と行動

3 日目 商品知識の効果的な提示技法

ロ 想定される就職先

旅行業者、飲食業者、宿泊業者、土産品業者 等

ハ 事業実施期間

平成 28 年 4 月～平成 29 年 12 月

3H～4H×3 日×1 回／定員 15 人【平成 28 年度】

3H～4H×3 日×1 回／定員 15 人【平成 29 年度】

ニ 事業実施主体

越前おおの雇用創造推進協議会

ホ 2の取組との連携方法

関係機関との連携により、セミナーへの参加を広く呼び掛けるとともに、セミナー受講者に対しては、セミナーの効果を生かせる求人情報を提供し、就業機会の拡大につなげる。

ヘ イの事業内容を設定するに当たっての地域のニーズ・シーズの把握方法
市内事業者 305 社へアンケート調査を実施。

(3) 売れる商品開発セミナー

イ 事業内容

観光客に売れる商品を開発するために必要なパッケージデザイン、ネーミング、カラーリング、プロモーションのポイントを習得し、多様なニーズに応じた商品を開発し、効果的なプロモーション活動ができる人材を育成することで、地域求職者の早期就業につなげる。

1 日目 売れるパッケージデザイン

2 日目 ネーミングがヒット商品を作る

- 3日目 カラーリングで商品を魅力的に
- 4日目 購買意欲を喚起するプロモーション
- ロ 想定される就職先
飲食業者、土産品業者 等
- ハ 事業実施期間
平成 28 年 4 月～平成 29 年 12 月
4H×4 日×1 回／定員 15 人【平成 28 年度】
4H×4 日×1 回／定員 15 人【平成 29 年度】
- ニ 事業実施主体
越前おおの雇用創造推進協議会
- ホ 2 の取組との連携方法
関係機関との連携により、セミナーへの参加を広く呼び掛けるとともに、セミナー受講者に対しては、セミナーの効果を生かせる求人情報を提供し、就業機会の拡大につなげる。
- へ イの事業内容を設定するに当たっての地域のニーズ・シーズの把握方法
市内事業者 305 社へアンケート調査を実施。

(4) 魅せる売場づくりセミナー

- イ 事業内容
VMD（ビジュアルマーチャンダイジング）の知識を学ぶとともに、注目されるポップの作り方やディスプレイの技術等実践で役立つスキルを持った人材を育成することで、地域求職者の早期就業につなげる。
 - 1日目 注目される売場作り
 - 2日目 売場で使えるポップ
 - 3日目 ヒットから時代をつかむ
 - 4日目 効果的なディスプレイ技術
- ロ 想定される就職先
飲食業者、土産品業者 等
- ハ 事業実施期間
平成 28 年 4 月～平成 29 年 12 月
3H×4 日×1 回／定員 15 人【平成 28 年度】
3H×4 日×1 回／定員 15 人【平成 29 年度】
- ニ 事業実施主体
越前おおの雇用創造推進協議会
- ホ 2 の取組との連携方法
関係機関との連携により、セミナーへの参加を広く呼び掛けるとともに、セミナー受講者に対しては、セミナーの効果を生かせる求人情報を提供し、就業機会の拡大につなげる。

- ヘ イの事業内容を設定するに当たっての地域のニーズ・シーズの把握方法
市内事業者 305 社へアンケート調査を実施。

(5) ソーシャルメディア活用セミナー

イ 事業内容

観光産業における情報発信の重要性、SNSをはじめとしたソーシャルメディアの活用方法を学び、販売促進につながる実践的な情報発信技術を持った人材を育成することで、地域求職者の早期就業につなげる。

- 1 日目 情報発信の重要性・販売促進ブログ構築実践 1
- 2 日目 情報発信の重要性・販売促進ブログ構築実践 2
- 3 日目 ソーシャルメディアの活用・販売促進フェイスブック構築 1
- 4 日目 ソーシャルメディアの活用・販売促進フェイスブック構築 2
- 5 日目 IT活用の実践とウェブマーケティング

ロ 想定される就職先

旅行業者、飲食業者、宿泊業者、土産品業者 等

ハ 事業実施期間

平成 28 年 4 月～平成 29 年 12 月

4H×5 日×1 回／定員 15 人【平成 28 年度】

4H×5 日×1 回／定員 15 人【平成 29 年度】

ニ 事業実施主体

越前おおの雇用創造推進協議会

ホ 2 の取組との連携方法

関係機関との連携により、セミナーへの参加を広く呼び掛けるとともに、セミナー受講者に対しては、セミナーの効果を生かせる求人情報を提供し、就業機会の拡大につなげる。

- ヘ イの事業内容を設定するに当たっての地域のニーズ・シーズの把握方法
市内事業者 305 社へアンケート調査を実施。

(6) ウェブデザイナー育成セミナー

イ 事業内容

観光誘客や土産品等の販売促進を図る上で、観光客に対して訴求力の高いホームページを開設する等のウェブ戦略は必須である。しかし、地域内企業においては、観光誘客や販売促進にウェブを活用しようとする意識は低く、また、市内において当該分野に対応できる企業や技術者がいないため、ウェブを活用した情報発信については極めて低い水準にある。

そこで、地域内において、観光誘客力の高いホームページや販売効果の高いネットショッピングサイトを構築できる人材を育成することで、それぞれの企業に応じたきめ細やかな対応を可能とし、地域内において立ち遅れている情報発信力の強化を図ることで、地域内企業の活性化と地域求職者の早期就労につなげる。

- 1 日目 グラフィック概論
 - 2 日目 グラフィック実習 (Illustrator : 基本操作、描画ツール、ペンツール、アイコン作成)
 - 3 日目 グラフィック実習 (Illustrator : レイヤー、文字入力、名刺作成、オブジェクトの変形、線の設定とアピアランス)
 - 4 日目 グラフィック実習 (Illustrator : フライヤーの作成、Photoshop : 基本操作、画像の補正)
 - 5 日目 グラフィック実習 (Photoshop : 画像の加工、文字の入力、Web サイトデザイン 1)
 - 6 日目 グラフィック実習 (Photoshop : Web サイトデザイン 2)
 - 7 日目 グラフィック実習 (Photoshop : コーポレートサイトデザイン、画像のスライス)
 - 8 日目 ライブ講座 (スタートアップガイダンス)
 - 9 日目 ライブ講座 (実習課題のブラッシュアップ)
 - 10 日目 ウェブ概論
 - 11 日目 ウェブ実習 (CSS : 概要、文字、背景、ボックス)
 - 12 日目 ウェブ実習 (HTML : 概要、テキスト、リスト、画像)
 - 13 日目 ウェブ実習 (HTML : リンク、テーブル、フォーム)
 - 14 日目 ウェブ実習 (CSS : 概要、文字、背景、ボックス)
 - 15 日目 ウェブ実習 (CSS : フロート、配置、デザイン、コーディング 1)
 - 16 日目 ウェブ実習 (CSS : コーディング 2)
 - 17 日目 ウェブ実習 (CSS : コーディング 3)
 - 18 日目 ライブ講座 (カラー&画像講義)
 - 19 日目 ライブ講座 (実習課題のブラッシュアップ)
 - 20 日目 フラッシュ実習 (Flash : 基本操作、描画ツール、アニメーション基本、バナー作成)
 - 21 日目 フラッシュ実習 (Flash : アニメーション応用、テキスト、サウンド、動画、スライドショー、パブリッシュ、ActionScript)
 - 22 日目 フラッシュ実習 (Flash : オブジェクト、文字、日付、時間、AIR アプリ、デスクトップ時計、外部ファイルアクセス、Twitter アプリ)
 - 23 日目 HTML5 実習 (HTML5 の基本と新要素、マークアップの比較)
 - 24 日目 HTML5 実習 (スマートフォンサイト制作)
 - 25 日目 Javascript 実習 (JavaScript 基礎、jQuery 基礎)
 - 26 日目 ライブ講座 (ウェブサイト事例研究)
 - 27 日目 ライブ講座 (実習課題のブラッシュアップ)
- ロ 想定される就職先
旅行業者、飲食業者、宿泊業者、土産品業者、起業 等
- ハ 事業実施期間

平成 28 年 4 月～平成 29 年 12 月

6H×27 日×1 回／定員 10 人【平成 28 年度】

6H×27 日×1 回／定員 10 人【平成 29 年度】

ニ 事業実施主体

越前おおの雇用創造推進協議会

ホ 2 の取組との連携方法

関係機関との連携により、セミナーへの参加を広く呼び掛けるとともに、セミナー受講者に対しては、セミナーの効果を生かせる求人情報を提供し、就業機会の拡大につなげる。

ヘ イの事業内容を設定するに当たっての地域のニーズ・シーズの把握方法
市内事業者 305 社へアンケート調査を実施。

III 就職促進メニュー

(1) 各種セミナー情報等発信事業

イ 事業内容

協議会が取り組む各種事業内容について、ホームページや機関誌等により、市内企業と市内求職者に情報発信を行う。

ロ 事業実施期間

平成 27 年 12 月～平成 30 年 3 月

ハ 事業実施主体

越前おおの雇用創造推進協議会

ニ 2 の取組との連携方法

協議会が実施する各種セミナー等の募集や地域求職者向けの就業機会の情報等を提供することで、地域求職者の早期就業を支援する。

(2) 求人・求職マッチングフェア

イ 事業内容

市内企業と地域求職者を対象とした合同就職面接会を開催することで、地域求職者の就業機会の確保と早期就業につなげる。

ロ 事業実施期間

平成 28 年 4 月～平成 29 年 12 月

3H×1 日×1 回／参加企業 10 社、参加求職者 30 人【平成 28 年度】

3H×1 日×1 回／参加企業 10 社、参加求職者 30 人【平成 29 年度】

ハ 事業実施主体

越前おおの雇用創造推進協議会

ニ 2 の取組との連携方法

関係機関との連携により、市内の企業と求職者のマッチングを支援する。

IV 雇用創出実践メニュー

(1) 結の故郷 おもてなし消費拡大事業

イ 事業内容

平成20年7月に内閣総理大臣の認定を受けた第1期大野市中心市街地活性化基本計画、平成25年3月に認定を受け、現在事業を進めている第2期中心市街地活性化基本計画の成果により、多くの観光客が本市へ訪れている。

しかしながら、複数ある目的地の一つとして訪れる観光客が多く、滞在時間が短いことから、地元商業者は、経済波及効果が実感できず、観光産業への転換が進んでいない状況である。

そこで、次の事業を実施し、観光客の滞在時間の延長と消費の増大を狙い、観光産業への転換を促進し、雇用の創出を図る。

「天空の城 越前大野城」等の土産品開発

四方を山々に囲まれた大野盆地。越前大野城は、大野市の中心部にある亀山（標高：249m）にそびえる平山城である。麓には、碁盤目状に区切られたまちなみ、中世から近世にかけて築かれた寺院の瓦葺の屋根が連なる寺町通り、春分の日から大晦日まで開かれる七間朝市等、400年を超える歴史の昔日を彷彿させる景観を今も色濃く残している城下町が広がり、この城下町が雲海に包まれると、亀山だけが浮かんで見える「天空の城 越前大野城」が現れる。

越前大野城の「天空の城」は、雲海の下がすぐ城下町で、雲海が広がって次第にまちが隠れていくさま、晴れて姿を現していくさまを眺めていると、まるで古（いにしえ）の大野に一瞬迷い込んだかのような幻想的な気分になる。

この「天空の城 越前大野城」を全国に向けて情報発信したことにより、さらに多くの観光客が訪れるようになってきているが、天空の城関連の土産品が少なく、十分な経済効果につながっていない。

そこで、市内菓子店等と協力し、地域の特産品である里芋や米、名水百選に選ばれた美味しい地下水で作られた、酒、味噌、醤油等を生かした和菓子等、城下町で食べ歩きできたり、お土産として持ち帰ることができる「天空の城 越前大野城」等をモチーフとした土産品を開発し、観光客の消費を促すことで、雇用の拡大を図る。

ロ 事業で開発する成果物の具体例

市内菓子店等と連携し、事業期間中に6品の土産品を開発し、菓子店等にレシピを提供する。

ハ 事業で開発した成果物の具体的な活用方法（成果物をどのように活用することで雇用を創造するか）

新たな土産品を開発し、（株）平成大野屋での営業や販売を通じて、販売員の雇用の拡大につなげる。また、土産品のレシピを公開し、土産品を作る市内菓子店での雇用の創出を図る。

ニ 事業実施期間及び実施スケジュール

平成27年12月～平成30年3月

【平成 27 年度】

- ①土産品開発の組織作り（1～3 月）
- ②市内土産品の現況分析（1～3 月）
- ③市場調査（1～3 月）
- ④実践支援員先進地視察（1～3 月）

【平成 28 年度】

- ①土産品の開発に係るターゲット、商品の決定(4～6 月)
- ②試作品の完成（7～10 月）
- ③土産品のパッケージデザイン作成、土産品の完成 3 品(11～12 月)
- ④29 年度に向けての市場調査(11～12 月)
- ⑤商品 P R、旅行代理店訪問（1～3 月）
- ⑥完成した土産品のモニタリング（1～3 月）
- ⑦実践メニュー成果物公開セミナーで成果物を公開(2～3 月)

【平成 29 年度】

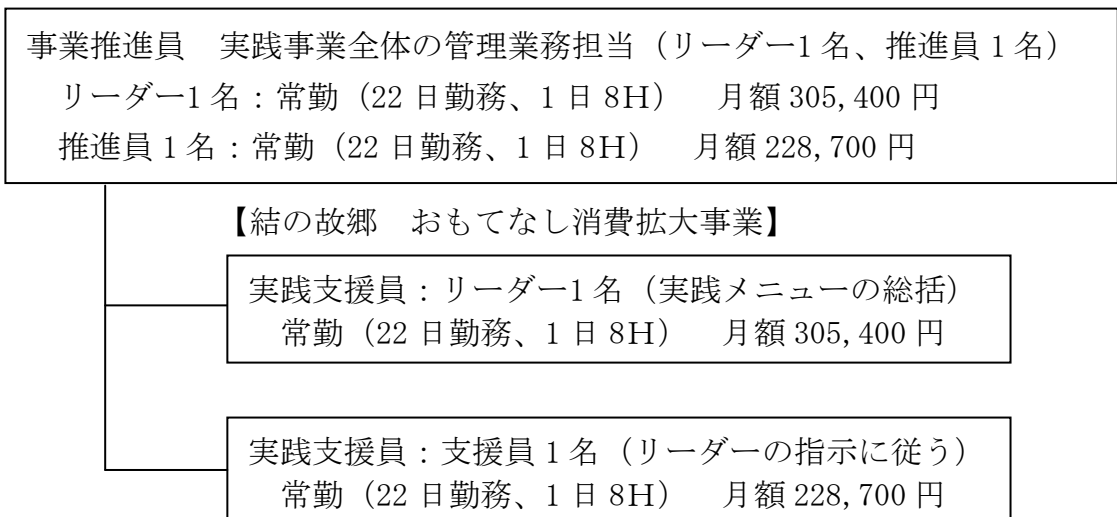
- ①土産品の開発に係るターゲット、商品の決定(4～5 月)
- ②試作品の完成（6～8 月）
- ③土産品のパッケージデザイン作成、土産品の完成 3 品(9～10 月)
- ④商品 P R、旅行代理店訪問（11～12 月）
- ⑤実践メニュー成果物公開セミナーで成果物を公開(12 月)
- ⑥完成した商品のモニタリング(1～2 月)
- ⑦FOODEX JAPAN 美食女子グランプリへ出品し、商品 P R（3 月）

ホ 事業実施主体

越前おおの雇用創造推進協議会

へ 事業に従事する労働者の体制

事業に従事する労働者数：4 名（事業推進員 2 名、実践支援員 2 名）



ト 2の取組との連携方法

土産品のレシピや開発ノウハウを公開することで、観光誘客に結び付く土産品開発の機運を高め、新たに商品開発や販路開拓に取り組む事業者に対しては、元気チャレンジ企業支援事業により支援を行う。

チ 委託期間終了後の計画

事業で開発した土産品のレシピや開発ノウハウは、市内事業者などに広く公開した上で、市商工観光振興課が引き継ぎ、委託期間終了後も土産品等を販売している株式会社平成大野屋など市内事業者による販売を促進する。

(2) 結の故郷 匠の技体験観光事業（再委託）

イ 事業内容

当市の中心市街地は、越前大野城や430年以上残る町割りをはじめ歴史的な景観、風情が残された城下町が市民によって守られてきた。また、中心市街地に位置する商店は、昔から伝えられている様々な技術や伝統を受け継ぎ、繁栄を築いてきた。しかしながら、車社会の発展等に伴い、郊外には大型店舗やコンビニエンスストアが立地し、これまで日常生活において経済圏の中心であった中心市街地における購買行動が低下している。

まちづくり会社（株）結のまち越前おおのでは、各商店が先人から受け継いできたモノ作りの技術等を体験できる「まち講座 匠の勧め」を平成26年に開講した。これは、市民が商店に足を運ぶ機会を作り、商店の技に興味を持ってもらうことで、市街地の商店街における消費拡大につなげるものである。

平成26年度には、延べ190講座、712名の参加があり、受講者からは好評であったが、参加料が低額であり、多くの参加者を受け入れることができないため、人件費等の採算がとれない状況である。

しかし、観光客向けの「まち講座 匠の勧め」が開講できれば、観光客の滞在時間を伸ばし、地域での新たな消費を生み出すことになる。

今回、先祖から受け継いできた城下町をフィールドに観光客を対象とした体験観光メニューを開発することで、近隣の福井県立恐竜博物館や大本山永平寺、東尋坊等の観光施設との連携を図り、北陸新幹線金沢開業による福井県への観光客を呼び込み、観光客の滞在時間を延ばすことで、地域での新たな消費を生み出し、新たな雇用の創出につなげる。

ロ 事業で開発する成果物の具体例

体験観光メニュー10件の開発

ハ 事業で開発した成果物の具体的な活用方法（成果物をどのように活用することで雇用を創造するか）

体験観光メニューを販売する実施主体および観光客を受け入れる各商店において雇用の創出を図る。

ニ 事業実施期間及び実施スケジュール

平成 27 年 12 月～平成 30 年 3 月

【平成 27 年度】

- ①「まち講座 匠の勧め」分析と観光客対象の講座の検討（1～3 月）
- ②他地域の体験型観光の現況調査（1～3 月）
- ③組織体制の確立（2～3 月）
- ④ウェブ等を活用したマーケティング調査・分析（2～3 月）

【平成 28 年度】

- ①体験講座のターゲット、ラインナップの決定（4～6 月）
- ②体験講座の構築（6～7 月）
- ③体験観光メニューを全国に情報発信する Web サイトの構築（7～3 月）
- ④体験講座 PR チラシの作成・情報発信（8～9 月）
- ⑤モニタリング、旅行会社等への営業（11～2 月）
- ⑥体験講座の完成：5 講座（11～2 月）
- ⑦実践メニュー成果物公開セミナーで成果物を公開（2～3 月）

【平成 29 年度】

- ①ウェブ等を活用したマーケティング調査・分析（4～5 月）
- ②体験講座のターゲット、ラインナップの決定、講座の構築（6～8 月）
- ③体験講座 PR チラシの作成・情報発信（8～9 月）
- ④モニタリング、旅行会社等への営業（10～12 月）
- ⑤体験講座の完成：5 講座（10～12 月）
- ⑥実践メニュー成果物公開セミナーで成果物を公開（12 月）
- ⑦体験講座の情報発信（1～3 月）
- ⑧企画運営体制の確立と業務移行先の選定（1～3 月）

ホ 事業実施主体

株式会社 結のまち越前おおの

へ 事業に従事する労働者の体制

事業に従事する労働者数：4 名（事業推進員 2 名、実践支援員 2 名）

事業推進員 実践事業全体の管理業務担当（リーダー 1 名、推進員 1 名）

リーダー 1 名：常勤（22 日勤務、1 日 8H） 月額 305,400 円

推進員 1 名：常勤（22 日勤務、1 日 8H） 月額 228,700 円

【結の故郷 匠の技体験観光事業】

実践支援員：リーダー 1 名（実践メニューの総括）
常勤（22 日勤務、1 日 8H） 月額 305,400 円
※地域求職者

実践支援員：支援員 1 名（リーダーの指示に従う）
常勤（22 日勤務、1 日 8H） 月額 228,700 円
※再委託先職員

ト 2の取組との連携方法

(株)結のまち越前おおのは、市民に各店舗が持っている技術の一部を体験してもらい、店舗の魅力を知ってもらうことを目的の一つとして「まち講座 匠の勧め」を行っている。この講座を、観光客を対象とした講座に発展させることで、観光セールス事業の目玉として、「結の故郷おもてなし事業」と併せて、旅行者や個人旅行を対象としているサイト運営会社に売り込み、滞在時間の延長や宿泊を伴う観光客の増加を図り、第2期大野市中心市街地活性化基本計画の目標に掲げている、まちなか観光による交流人口の増加につなげる。

チ 委託期間終了後の計画

事業で開発した体験観光メニューは、当該事業で得たノウハウを広く公開した上で、株式会社 結のまち越前おおのへ引き継ぐ予定をしており、委託期間終了後も新たな体験観光メニューの開発を促進する。

5 事業実施による効果

(1) アウトプット指標

イ 雇用拡大メニュー（利用企業数）

①	1年度目	30社
②	2年度目	60社
③	3年度目	30社
	合計	120社

ロ 人材育成メニュー（利用者数）

①	1年度目	15人【地域求職者 14人、在職者 1人】
②	2年度目	85人【地域求職者 79人、在職者 6人】
③	3年度目	70人【地域求職者 65人、在職者 5人】
	合計	170人【地域求職者 158人、在職者 12人】

ハ 就職促進メニュー（利用者数）

①	1年度目	0人【地域求職者 0人、在職者 0人】
②	2年度目	30人【地域求職者 27人、在職者 3人】
③	3年度目	30人【地域求職者 27人、在職者 3人】
	合計	60人【地域求職者 54人、在職者 6人】

(アウトプット指標の内訳)

	アウトプット				アウトプット指標設定の根拠
	1年度目	2年度目	3年度目	合計	
イ 雇用拡大メニュー	30社	60社	30社	120社	

観光業開発セミナー	15社	15社	-社	30社
商品開発・マーケティングセミナー	15社	15社	-社	30社
ネット活用ビジネスセミナー	-社	15社	15社	30社
実践メニュー成果物公開セミナー	-社	15社	15社	30社
ロ 人材育成メニュー	15人	85人	70人	170人
観光誘客力育成セミナー	15人 地域求職者14人 在職者1人	15人 地域求職者14人 在職者1人	-人 地域求職者-人 在職者-人	30人 地域求職者28人 在職者2人
観光おもてなし力育成セミナー	0人 地域求職者0人 在職者0人	15人 地域求職者14人 在職者1人	15人 地域求職者14人 在職者1人	30人 地域求職者28人 在職者2人
売れる商品開発セミナー	-人 地域求職者-人 在職者-人	15人 地域求職者14人 在職者1人	15人 地域求職者14人 在職者1人	30人 地域求職者28人 在職者2人
魅せる売場づくりセミナー	-人 地域求職者-人 在職者-人	15人 地域求職者14人 在職者1人	15人 地域求職者14人 在職者1人	30人 地域求職者28人 在職者2人
ソーシャルメディア活用セミナー	-人 地域求職者-人 在職者-人	15人 地域求職者14人 在職者1人	15人 地域求職者14人 在職者1人	30人 地域求職者28人 在職者2人
ウェアラブルデバイス育成セミナー	-人 地域求職者-人 在職者-人	10人 地域求職者9人 在職者1人	10人 地域求職者9人 在職者1人	20人 地域求職者18人 在職者2人
ハ 就職促進メニュー	0人	30人	30人	60人
各種セミナー情報等発信事業	-人 地域求職者-人 在職者-人	-人 地域求職者-人 在職者-人	-人 地域求職者-人 在職者-人	-人 地域求職者-人 在職者-人
求人・求職マッチングフェア	-人 地域求職者-人 在職者-人	30人 地域求職者27人 在職者3人	30人 地域求職者27人 在職者3人	60人 地域求職者54人 在職者6人

○ アウトプット指標設定の根拠

平成26年3月に実施した「企業の人材育成・キャリアアップに関するアンケート」の結果や大野職業安定所管内の有効求職者数（月平均727人）等を踏まえて、目標とする指標とした。

(2) アウトカム指標

- ① 1年度目 14人（常雇10人、常雇以外4人、創業者0人）
- ② 2年度目 47人（常雇28人、常雇以外16人、創業者3人）
- ③ 3年度目 36人（常雇21人、常雇以外12人、創業者3人）
- 合計 97人（常雇59人、常雇以外32人、創業者6人）

(アウトカム指標の内訳)

	アウトカム				アウトカム指標 設定の根拠
	1年度目	2年度目	3年度目	合計	
イ 雇用拡大メニュー	6人	9人	3人	18人	
観光業開発セミナー	3人 常雇2人 常雇以外1人 創業者0人	3人 常雇2人 常雇以外1人 創業者0人	-人 常雇-人 常雇以外-人 創業者-人	6人 常雇4人 常雇以外2人 創業者0人	アウトプット数の 20%
商品開発・マーケティングセミナー	3人 常雇2人 常雇以外1人 創業者0人	3人 常雇2人 常雇以外1人 創業者0人	-人 常雇-人 常雇以外-人 創業者-人	6人 常雇4人 常雇以外2人 創業者0人	アウトプット数の 20%
ネット活用ビジネスセミナー	-人 常雇-人 常雇以外-人 創業者-人	3人 常雇2人 常雇以外1人 創業者0人	3人 常雇2人 常雇以外1人 創業者0人	6人 常雇4人 常雇以外2人 創業者0人	アウトプット数の 20%
実践メニュー成果物公開セミナー	-人 常雇-人 常雇以外-人 創業者-人	0人 常雇0人 常雇以外0人 創業者0人	0人 常雇0人 常雇以外0人 創業者0人	0人 常雇0人 常雇以外0人 創業者0人	
ロ 人材育成メニュー	5人	30人	25人	60人	
観光誘客力育成セミナー	5人 常雇3人 常雇以外2人 創業者0人	5人 常雇3人 常雇以外2人 創業者0人	-人 常雇-人 常雇以外-人 創業者-人	10人 常雇6人 常雇以外4人 創業者0人	アウトプット数の約 33%
観光おもてなし力育成セミナー	-人 常雇-人 常雇以外-人 創業者-人	5人 常雇3人 常雇以外2人 創業者0人	5人 常雇3人 常雇以外2人 創業者0人	10人 常雇6人 常雇以外4人 創業者0人	アウトプット数の約 33%
売れる商品開発セミナー	-人 常雇-人 常雇以外-人 創業者-人	5人 常雇3人 常雇以外2人 創業者0人	5人 常雇3人 常雇以外2人 創業者0人	10人 常雇6人 常雇以外4人 創業者0人	アウトプット数の約 33%
魅せる売場づくりセミナー	-人 常雇-人 常雇以外-人 創業者-人	5人 常雇3人 常雇以外2人 創業者0人	5人 常雇3人 常雇以外2人 創業者0人	10人 常雇6人 常雇以外4人 創業者0人	アウトプット数の約 33%
ソーシャルメディア活用セミナー	-人 常雇-人 常雇以外-人 創業者-人	5人 常雇3人 常雇以外2人 創業者0人	5人 常雇3人 常雇以外2人 創業者0人	10人 常雇6人 常雇以外4人 創業者0人	アウトプット数の約 33%
ウェブデザイナー育成セミナー	-人 常雇-人 常雇以外-人 創業者-人	5人 常雇1人 常雇以外1人 創業者3人	5人 常雇1人 常雇以外1人 創業者3人	10人 常雇2人 常雇以外2人 創業者6人	アウトプット数の 50%
ハ 就職促進メニュー	-人	5人	5人	10人	
各種セミナー情報等 発信事業	-人 常雇-人 常雇以外-人 創業者-人	-人 常雇-人 常雇以外-人 創業者-人	-人 常雇-人 常雇以外-人 創業者-人	-人 常雇-人 常雇以外-人 創業者-人	

	求人・求職マッチングフェア	- 人 常雇 - 人 常雇以外 - 人 創業者 - 人	5 人 常雇 3 人 常雇以外 2 人 創業者 0 人	5 人 常雇 3 人 常雇以外 2 人 創業者 0 人	10 人 常雇 6 人 常雇以外 4 人 創業者 0 人	アウトプット数の約 16%
ニ	雇用創出実践メニュー	3 人	3 人	3 人	9 人	
	結の故郷 おもてなし消費拡大事業	2 人 常雇 2 人 常雇以外 0 人 創業者 0 人	2 人 常雇 2 人 常雇以外 0 人 創業者 0 人	2 人 常雇 2 人 常雇以外 0 人 創業者 2 人	6 人 常雇 6 人 常雇以外 0 人 創業者 0 人	
	結の故郷 匠の技体験観光事業	1 人 常雇 1 人 常雇以外 0 人 創業者 0 人	1 人 常雇 1 人 常雇以外 0 人 創業者 0 人	1 人 常雇 1 人 常雇以外 0 人 創業者 0 人	3 人 常雇 3 人 常雇以外 0 人 創業者 0 人	
合 計	イ 雇用拡大メニュー	6 人 常雇 4 人 常雇以外 2 人 創業者 0 人	9 人 常雇 6 人 常雇以外 3 人 創業者 0 人	3 人 常雇 2 人 常雇以外 1 人 創業者 0 人	18 人 常雇 12 人 常雇以外 6 人 創業者 0 人	
	ロ 人材育成メニュー	5 人 常雇 3 人 常雇以外 2 人 創業者 0 人	30 人 常雇 16 人 常雇以外 11 人 創業者 3 人	25 人 常雇 13 人 常雇以外 9 人 創業者 3 人	60 人 常雇 32 人 常雇以外 22 人 創業者 6 人	
	ハ 就職促進メニュー	- 人 常雇 - 人 常雇以外 - 人 創業者 - 人	5 人 常雇 3 人 常雇以外 2 人 創業者 0 人	5 人 常雇 3 人 常雇以外 2 人 創業者 0 人	10 人 常雇 6 人 常雇以外 4 人 創業者 0 人	
	ニ 雇用創出実践メニュー	3 人 常雇 3 人 常雇以外 0 人 創業者 0 人	3 人 常雇 3 人 常雇以外 0 人 創業者 0 人	3 人 常雇 3 人 常雇以外 0 人 創業者 0 人	9 人 常雇 9 人 常雇以外 0 人 創業者 0 人	

○ 地域求職者等の主な就職予定先

観光関連産業（旅行業、飲食業、宿泊業、土産品業） 等

○ アウトカム指標設定の根拠

平成 26 年 3 月に実施した「企業の人材育成・キャリアアップに関するアンケート」の結果や大野職業安定所管内の有効求職者数（月平均 727 人）、と就職件数（月平均 128 件）等を踏まえて、目標とする指標とした。

○ アウトカムのデータ把握方法

各事業を利用した求職者、企業へアンケートを郵送して状況を把握する。

(3) アウトプット・アウトカム指標の比較表

別添のとおり。

(4) 実践事業に当たっての事業の広報戦略等

事業の実施に当たっては、大野商工会議所、ハローワーク大野をはじめとする関係機関と連携し、市内事業所や地域求職者等への周知を図るとともに、協議会が主体となり、インターネットや機関紙等により積極的な情報発信に取り組む。

(5) 事業実施期間終了後における地域の雇用創造に係る計画予定等

本事業は、観光誘客による交流人口の拡大と観光客をターゲットとした物産振興による地域経済の発展を視点を、経済効果と雇用創出効果を生み出すことを目的に組み立てたものであり、本市が将来にわたり持続的に発展していくために必要不可欠な事業である。事業実施期間終了後においては、本事業により育成する観光客のニーズに応じた商品開発や顧客満足度の高いおもてなし、インターネットを活用した情報発信ができる人材を活用し、行政と関係団体が一体となって経済の活性化や産業振興を進めることで、地域における雇用拡大に引き続き取り組む。

また、今回の事業の効果を検証しながら人材育成研修の改善を図り、より効果的な人材育成研修の継続を目指す。

雇用実践メニューの成果物については、「結の故郷 おもてなし消費拡大事業」で開発する土産品は、第三セクターである株式会社平成大野屋が運営する土産品販売所での販売を行うとともに、市等が実施する観光出向宣伝などを活用し、全国に向けて情報発信、販路拡大を図り、引き続き、観光客の地域内消費を促進する。

また、「結の故郷 匠の技体験観光事業」で開発する体験観光メニューについては、株式会社結のまち越前おおのが引き継ぎ、福井県立恐竜博物館や北陸新幹線の金沢開通による新たな観光客を呼び込み、市内における滞在時間を延ばすことで、地域での新たな消費を生み出し、雇用の創出を図る。

現在策定中の大野市総合戦略においては、基本目標の一つに「安定した雇用を創出する」を掲げ、基本目標を達成するための事業として「地域雇用の創造のための人材育成」を設定する予定である。本事業は、地域雇用の創造のための人材育成の中心事業として位置付ける予定である。

(6) 事業の実施により見込まれる波及的な雇用創造効果

事業の実施により、市内の事業所が立ち遅れている地域資源を活用したブランディングやプロモーションを担う人材が育成されることで、観光関連産業を中心に事業の拡大や新規分野への進出が進み、地域産業の活性化と雇用の創出が見込まれる。

6 必要経費の概算（予定額）

143,227 千円（1年度目 19,928 千円、2年度目 63,767 千円、3年度目 59,532 千円）

7 過去に実施した事業との変更点（該当がある場合のみ記載）

(1) 過去3年以内に実施したパッケージ事業、実現事業又は実践事業との変更点（事業名、実施期間、地域重点分野、各事業の内容、対象者、事業費、雇用創出実践メニューにおける成果物等について、変更点分かる新旧対照表を添付すること）別添のとおり。

(2) 過去の事業内容を拡充する場合には、その理由と実現可能性

8 協議会が解散した場合の文書の保存

協議会解散後は、市が文書を引き継ぎ5年間保管する。